

親子聖書日課

[日]主の救いを経験した人は、他者を主の下へ導こうと励みます。中風の人を運んだ人々がそうです。あらゆる努力を払って他者を導こうとする時、主も「その人達の信仰を見て」救って下さるのです。力を合わせて、主の下へ連れて行きましょう。

[月]信仰とは、「私にできると信じるか」との主の問いに、迷わず「はい、主よ」と応えることです。不可能に見えることでも、主を信じるなら、主は計り知れないことをして下さるのです。「はい、主よ」を合言葉にするなら、主のみ旨が実現するでしょう。

[火]主はいつの時代も働き人を求めています。弟子に選ばれた12人は、好き嫌いを越えて、主のために一致して働くことができました。「失われた羊の所に行って」福音を伝える働きが私達にも託されています。共に主のために働きましょう。

[水]主のために生きることは、容易ではありません。家庭、学校、会社でも、批判されることがあります。しかし、主は見捨てません。「髪の毛までも一本残らず、数えられている」ほど、私達を愛して下さっているのですから、恐れることはありません。

[木]父母を愛することは大切ですが、主に従うために情に流されてはいけません。家族は主を知らないが故に、私達の信仰に反対することがあります。信仰の決断を曲げてはいけません。最初は反対されても、後で家族の救いになるのです。



[金]世の人々は、メシアが捕らえられ、殺されるなどとは考えませんでした。ヨハネもその一人でした。しかし、神の計画は、人の思いを遥かに超えています。それは牢から解放するという程度ではなく、全ての人々を罪と死の呪いから解放するのです。

[土]重荷を負うて苦しむ者に、主は平安を与えて下さいます。ですから、自分の力で解決しようとせず、主の所に重荷を持って行きましょう。軛は一人で負わなくてよいのです。軛を共に負って下さる主と歩調を合わせれば、身も心も軽やかです。

NO.1935 2025.10/26-11/1 名前

	聖書	問題	答え
日	マタイ 9:1-17	人々は、中風の人をどうしたまま、主のところへ連れてきましたか。	
月	9:18-34	私にできると信じるか、と主に聞かれた時、盲人は何と答えましたか。	
火	9:35-10:15	収穫は多いが、何が少ないですか。	
水	10:16-33	あなたがたは何までも一本残らず数えられていますか。	
木	10:34-11:1	何を担って主に従わない者は、主にふさわしくありませんか。	
金	11:2-19	主にどうしない人は幸いですか。	
土	11:20-30	主の軛を負い、主に学ぶなら、何が得られますか	
感想と祈りの課題			